

# 「連携地域別政策展開方針」について

## 1 方針の概要

「連携地域別政策展開方針」は、北海道地域振興条例に基づき、地域振興を効果的に推進するため、北海道総合計画が示す政策の基本的な方向に沿って、6つの連携地域ごとに策定する地域計画地域の総力により地域づくりを進めるため、市町村や地域の関係者の参画を得て、令和3年度（令和4年1月）から概ね4年を推進期間として策定  
 なお、第2期北海道創生総合戦略の「地域戦略」としての位置付けを併せ持つ

## 2 構成

### ○ 地域のめざす姿

総合計画の終期である令和7年度を目途にめざす地域の姿

### ○ これまでの取組と課題

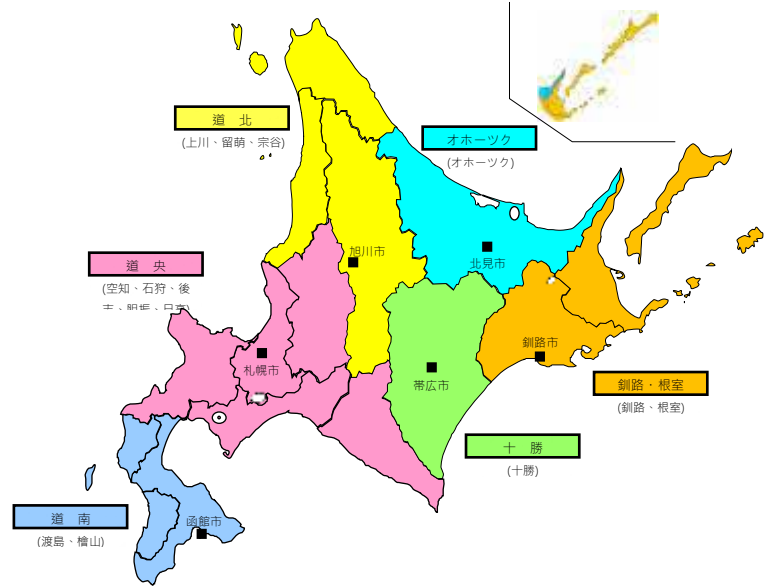
連携地域と振興局所管地域におけるこれまでの取組と今後の課題

### ○ 主な施策の展開方向

方針の推進期間における連携地域の主な施策の方向、振興局所管地域の重点的な施策の方向

### ○ 地域重点政策ユニット

「主な施策の展開方向」に基づき、重点的に取り組むプロジェクト



## 3 主なプロジェクト

各連携地域は、それぞれの地域のめざす姿の実現に向け、多様な主体と連携・協働して、地域の特性や資源などを活かしたプロジェクトを推進【全51プロジェクト】

連携地域(※)	プロジェクト(例)	主な施策	主なKPI
道央広域 【18プロジェクト】	日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>■次代に「繋ぐ」炭鉄港</li> <li>■地域で「稼ぐ」炭鉄港</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○炭鉄港推進協議会構成市町への観光入込客数 7,250千人(R2) → 7,468千人(R7)</li> </ul>
道南 【6プロジェクト】	縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>■縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進</li> <li>■遺産を活用した誘客促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多言語化など、縄文文化の理解促進に向けて新たな取組を行った施設数(渡島地域) 1施設(R2) → 11施設(R7)</li> </ul>
道北 【13プロジェクト】	魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>■空港運営の一括民間委託を契機とした航空ネットワークの充実・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光入込客数(道北連携地域) 2,260万人(R1) → 2,504万人(R7)</li> </ul>
オホーツク 【5プロジェクト】	オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移住・定住の促進に向けた取組の推進</li> <li>■若年層の地元定着促進に向けた取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規高卒者の管内就職内定率 67.7%(R2) → 75.0%(R6)</li> </ul>
十勝 【4プロジェクト】	未来につなげる環境・先進分野十勝プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自然環境の保全・適正利用や、再生可能エネルギーの利活用などによるゼロカーボン北海道の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゼロカーボンシティ表明市町村数 1市町村(R2) → 19市町村(R7)</li> </ul>
釧路・根室 【5プロジェクト】	「ゼロカーボン北海道」への貢献プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会システムの脱炭素化と再生可能エネルギーの最大限の活用</li> <li>■森林等の二酸化炭素吸収源の確保と自然環境の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新エネルギー発電設備容量 47.4万kW(R1) → 52.8万kW(R7)</li> </ul>

(※)連携地域を越えた振興局間で取り組むプロジェクトは、主となる振興局が属する連携地域のプロジェクトとしてカウント

## 4 推進管理

方針を効果的に推進していくため、振興局は「地域づくり連携会議」において、各プロジェクトの進捗状況等の点検・評価を行い、必要に応じて取組内容の充実を図るなど、PDCAサイクルによる推進管理を行う